

平成 26 年度奈良県計画に関する 事後評価

令和 7 年 1 月
奈良県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

3. 事業の実施状況

平成26年度奈良県計画に規定した事業について、令和5年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1-1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 3 (医療分)】 がん患者に対する口腔ケア対策支援事業	【総事業費】 973 千円
事業の対象となる区域	全県	
事業の期間	平成 26 年 10 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・がん医科歯科連携講習会修了書授与数 400 人 ・歯科衛生士派遣病院数 10 病院 ・病診連携数 10 病院 ・患者満足度の上昇 	
事業の達成状況	<p>がん診療連携拠点病院等と地域の歯科医師とのがん患者の口腔ケアに関する連絡会を実施し、連絡会の内容を踏まえ、歯科医師等を対象とした研修会を実施。</p> <p>○歯科医師等を対象にした研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん医科歯科連携講習会修了書授与数：H26～R5：716 人 ・がん診療連携登録歯科医：139 人 <p>○がん診療病院に対する歯科医師、歯科衛生士の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師、歯科衛生士派遣病院数：H26～R5：10 病院、延 12 病院 <p>○病診連携数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病診連携数：12 病院 ・連携歯科医療機関数：35 機関 ・医科歯科連携件数：98 件 <p>○患者満足度の上昇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん治療に納得していると回答した割合：H29:66.7%→R3:67.8% (ならのがんに関する患者意識調査) 	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>本事業を実施することにより、がん患者が適切に口腔ケアや歯科治療にかかりやすい体制を構築するために、がん診療連携拠点病院等と地域の歯科医師との連携を促進することができた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>地域の医師、歯科医師、歯科衛生士等を対象とした研修会を開催し、歯科医療従事者ががん治療における周術期の口腔機能管理を学び、資質向上を図ることができた。</p>	
その他	平成 26 年度：1,215 千円、平成 27 年度：1,337 千円、平成 28 年度：2,632 千円、平成 29 年度：882 千円、平成 30 年度：1,537 千円、令和元年度：1,501 千円、令和 2 年度：27 千円、令和 3 年度：300 千円、令和 4 年度：994 千円、令和 5 年度：973 千円	

事業の区分	1-1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 4 (医療分)】 病床の機能分化・連携推進検証手法検討事業	【総事業費】 7,930 千円
事業の対象となる区域	全圏域	
事業の期間	平成 26 年 10 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	地域の医療機関の現状把握、今後の将来の病床数の必要量とマッチングをする手法の確立	
事業の達成状況	令和 5 年度においても、医療と介護を一体的に把握できる国保及び後期高齢者のデータを用いて、地域ごとにどのような検証手法が有効かについて、評価分析を進めることができた。	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 各病院が、地域における自院の立ち位置の把握と将来の方向性の検討を行い、地域医療構想に沿った自主的な取に繋がられるデータ分析を病院へ示すことができた。</p> <p>(2) 事業の効率性 地域医療構想における課題を明確にした上で、各種分析に着手することにより、効率的に業務を遂行した。</p>	
その他		